

## 第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立住之江支援学校
校長名	三宅 康寛

開催日時	令和 7年 12月16日( 火 )10:30~12:15
開催場所	大阪府立住之江支援学校 図書室
出席者(委員)	伊藤委員 馬場委員 今枝委員 芦田委員
出席者(学校)	三宅校長 岩井教頭 岡本教頭 田中事務長 島山首席 藤井首席 油田首原
傍聴者	0名
協議資料	令和7年度学校経営計画進捗状況について
議題等(次第順)	
1.	学校長挨拶
2.	会長挨拶
3.	校内見学
4.	令和7年度学校経営計画進捗状況について
協議内容(意見の概要)	
1. 確かな専門性を基盤とした教育活動の展開と地域支援の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント(A2等)による確かな実態把握を基に的確な個別の支援教育、個別の指導計画の作成と活用。</li> <li>・学習指導要領及びシラバスに則り個々の子どもの力を伸長できる授業展開。授業参観週間、授業見学週間を実施。</li> <li>・教員全員が自身の授業についてねらいを明確にした記事を学校ブログに年1回掲載する。</li> <li>・実践ワークショップの実施や校内における教職員人材バンクの作成。</li> </ul>	
2. 全校で取り組むキャリア教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を軸とした児童生徒が主体的に取り組む学校祭の実施。</li> <li>・小中高一貫した共同学習としての取り組みを位置づけ。高等部の生徒が中学部の生徒へ清掃のやり方を指導。</li> </ul>	
3. 安全安心を保障できる体制づくり	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内ケース会議を中心とした生徒支援の組織的運営。</li> <li>・より実務的な防災教育、健康教育、情報教育、防犯研修を実践。PTA役員、委員の保護者も参加してもらっての避難訓練を実施予定。来年度に向けて防災袋についても話し合いをすすめている。</li> <li>・個人情報の管理体制を明確化し、適正な取り扱いを行う。</li> </ul>	
4. 学校組織の充実と健康的な職場環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織運営の検証を行い円滑な業務の遂行をめざすすめている。</li> <li>・新校務システム運用委員会を設置し運用、業務の効率化をすすめている。教育支援計画については今年から運用。</li> <li>・仕事の実態を把握しながら教職員の働きやすい職場になるようすすめている。</li> </ul>	
伊藤委員)先生方にはいつも感謝している。卒業まであと三ヶ月先生方どうぞよろしくお願ひします。	
馬場委員) 令和5年度卒業で、学習発表会の形式での最後の年となる。学校祭として内容を変え、いいものにしてくださっているのだなあと感じた。今年度は子ども達が自主的に取り組むというところが強くなっていると感じいい所だなと思う。今日見学していく中でも思ったが、ある程度理解している子どもたちほど可能性が広がる教育が行われていることを感じた。その一方、意思の表出が難しい子どもたちも支援学校には通っている。希望者を募るときなど、やりたいと思っても、なかなか手を挙げることができない子もいるかもしれない、ということを支援学校ならではで、くみとていただきたい。表現が難しい子どもたちのこと、どうやって楽しめるか、その子たちが疎外感を感じない、またその子どもたちの保護者も「この学校にこさせて良かった。」と思えるような企画にしていただけたらと思う。	
今枝委員)・意思表示が難しい子ども達の主体的に輝ける場、発揮する場が設定されれば良いと思った。学習発表会のための学習発表会になっている場合がある。行事のための行事になっていると目的がなんであつたのかが見えにくくなる。劇の発表にこだわらず、様々な行事に取り組む中で、子どもたちが輝ける場とはなんだろうと計画していくのが良いと思う。作品作りなどでも、作品を作ることが目的にならず、作品を作ることを通して何を身につけるかが大切。目的と手段を分けなければいけない。	
芦田委員)見学して皆さん音楽に合わせてなど、楽しそうに活動されているのが見れた。身体を動かすことが大事なのだと感じた。授業見学週間での教員の方の話し合いが活発になってきていたと聞いて、どのようにされているのかを聞きたい。働き方改革によるというところが、効果を出すためには、いろいろと時間がかかる部分だと思う。効果の反面、何かしらの負荷なり、(教職員が)感じられている部分等、聞き取っていくことを継続することが先生たちの安心につながると思う。また、ハラスマント研修のところで、弊社のグループ会社での取り組みでアンコンシャスバイアスなどを取り上げて行った。思い込みなどや無意識なうちの、ということでもしかしたら不適切と思われるものにつながっていることもあるかもしれない。研修などで気づきになり良い方向へいくと良いと思う。またアンケートや面談時に話を聞いたり、気づきの促しなどがあれば、と思う。生徒さんも先生たちもいきいきとされている様子が見えた。進捗状況を聞き、達成はしていかれると思うが無理はされず、と思う。	
三宅校長)授業見学週間でのフィードバックでは、良かった点や参考になる意見等が、教員間で行われることで、受け入れやすくいい効果になっていると思う。気づくことで良い方向に向かってほしいと思っている。(本人が)気づけるようにもっていければと考えている。	
日時	令和7年 2月予定
会場	図書室